

前町長退任の ごあいさつ

「親身な町政」を基本理念とし、①寄居に満足して住めるまちづくり、②親身になって応援・協力、③ひかり輝く、観光ブランドタウンの実現を最重要施策に掲げ、皆様のご信任を頂戴

振り返りますと、4年前の平成22年、
「親身な町政」を基本理念とし、①寄居に満足して住めるまちづくり、②親身になって応援・協力、③ひかり輝く、観光ブランドタウンの実現を最重要施策に掲げ、皆様のご信任を頂戴



前寄居町長
島田 誠

疾うに立秋は過ぎたものの、まだまだ暑さ厳しき中、皆様にはご健勝にてお過ごしのことと、拝察申し上げます。
また、広島市においては先月、記録的な集中豪雨がもたらした土石流により、多くの方が被災されました。ここに謹んで、衷心よりお見舞いとお悔やみを申し上げる次第であります。
さて、私は去る8月27日の任期満了をもちまして、町長職を退任いたしました。
振り返りますと、4年前の平成22年、
「親身な町政」を基本理念とし、①寄居に満足して住めるまちづくり、②親身になって応援・協力、③ひかり輝く、観光ブランドタウンの実現を最重要施策に掲げ、皆様のご信任を頂戴

た明るい町政運営を行うこと、つまり権力者にならないことでありました。さて、世の中は、今まで経験したことのないようなスピードでさまざまな変化が見られます。そうした中、地方分権が進み、課題が顕在化しつつあります。まさに、地域それぞれの独自性を生かした自治体づくりが求められているものと思われまます。また、刻々と迫りつつある超少子高齢化の波は、もはや止める術すらない状況にあります。
しかし、地方自治体として手をこまねいているわけにはいきません。今こそ、これらに対するしつかりとした基盤を築かねばならないときであると考えます。
このような状況下で寄居町を考えたとき、当面取り組むべき課題を多く抱えております。①人口の減少に歯止めをかけること、②高齢化社会への対応、③寄居駅南口と中心市街地の活性化、④男衾駅周辺整備、⑤産業振興の基盤整備（寄居スマートインターを含む）、⑥教育環境の整備充実、⑦共助体制基盤の構築、⑧財政の健全化、⑨組織の健全化と組織力アップなどが挙げられます。
私は、これら多くの課題を解決するために、対話と協調を基調に、十分な説明と納得の町づくりをモットーに町政を運営してまいります。そのために、現場主義に徹し、現場をしつかりと見ること、町民の皆様の声を聴き取ること、町の置かれている状況や実情をしつかりと話すことにより、町民目線に立った開かれた行政を進めます。議会との関係につきましましては、車の両輪としてとらえ、緊張感と必要な距離

新町長新任の ごあいさつ

私はこのたび、町民の皆様のご厚情を賜り、8月28日から寄居町長に就任させていただきました。
若さと情熱を持って多くの事業に取り組み、実績を残された島田誠前町長の後任として、この歴史と伝統ある寄居町の町長として舵取りを託され、その責務の重大さに、改めて身の引き締まる思いであります。
また、寄居町は歴代の町長が心血を注ぎ、今日の寄居町の礎を築いてきたことに対し、尊崇の念を抱くものであります。
この積み築かれた基盤をベースにし、町の将来像である「自然と産業が調和する創造のまち寄居」を目指し、これからの4年間、町民の皆様全体の奉仕者として、初心を忘れることなく、誠心誠意職務を全うしてまいります。また、町長として肝に銘じたことは、権力によらない開かれ

た明るい町政運営を行うこと、つまり権力者にならないことでありました。さて、世の中は、今まで経験したことのないようなスピードでさまざまな変化が見られます。そうした中、地方分権が進み、課題が顕在化しつつあります。まさに、地域それぞれの独自性を生かした自治体づくりが求められているものと思われまます。また、刻々と迫りつつある超少子高齢化の波は、もはや止める術すらない状況にあります。
しかし、地方自治体として手をこまねいているわけにはいきません。今こそ、これらに対するしつかりとした基盤を築かねばならないときであると考えます。
このような状況下で寄居町を考えたとき、当面取り組むべき課題を多く抱えております。①人口の減少に歯止めをかけること、②高齢化社会への対応、③寄居駅南口と中心市街地の活性化、④男衾駅周辺整備、⑤産業振興の基盤整備（寄居スマートインターを含む）、⑥教育環境の整備充実、⑦共助体制基盤の構築、⑧財政の健全化、⑨組織の健全化と組織力アップなどが挙げられます。
私は、これら多くの課題を解決するために、対話と協調を基調に、十分な説明と納得の町づくりをモットーに町政を運営してまいります。そのために、現場主義に徹し、現場をしつかりと見ること、町民の皆様の声を聴き取ること、町の置かれている状況や実情をしつかりと話すことにより、町民目線に立った開かれた行政を進めます。議会との関係につきましましては、車の両輪としてとらえ、緊張感と必要な距離



寄居町長
花輪 利一郎

し、長き歴史と伝統ある寄居町長に就かせていただきました。
このような経過を踏まえ、就任直後に取り組んだ第5次寄居町総合振興計画の後期基本計画の策定に際しましては、①人口減少を食い止め、人口を増やす【定住の促進】、②心と体の健康づくり【介護・医療・福祉連携】、③ひかり輝く、観光・ブランドタウンの実現【観光再生】、④寄居町が描くエコタウンな暮らし「より・Eコタウン」の4つを重点的な取り組みテーマとして前面に打ち出し、これらを基本に町民生活の安定と福祉の向上、町の発展のための各種施策を積極的に展開してきたところであります。
具体的には、第3子の保育料無料化の導入、中学生までの医療費無料化の導入、教育サポートセンターの開設、障害者交流センターの開設、地域支えあい活動の推進、健康づくり・チャレンジポイント事業の創設、デマンドタクシー（愛のりタクシー）の運行、住宅改修助成事業の実施、公共施設使用料の無料化、水道料金の値下げ、よりいジョブセンターの開設、用土駅舎の建替えおよび用土コミュニティセンターの新築、農産物加工施設「里の駅アグリ館」の新築等々、各種施策

を現実にさせていただきました。
この間、皇太子殿下をお迎えし、第37回全国育樹祭のお手入れ行事が執り行われたことや、本田技研工業株式会社寄居工場が本稼働されたこと、資源循環工場第Ⅱ期事業の整備が進展したこと、寄居町の歴史に刻まれる大きな記念すべきこととなりました。
思い起こしますと、私にとって重責の中での4年間でしたが、町長として寄居町を心から、こよなく愛し、粉骨砕身の気持ちで胸に職責を全うすることができたと考えております。これもひとえに、町議会をはじめ、関係機関・団体、そして町民皆様一人ひとりの温かいご理解とご協力の賜物と、心から感謝を申し上げる次第であります。
新体制におきましては、寄居町発展に向けてのまちづくりを着実に進めていただきますよう、お願いする次第であります。
結びに、ご支援・ご鞭撻を頂戴しましたすべての町民皆様へ、衷心より感謝と御礼を申し上げますとともに、寄居町のさらなる発展を期待し、退任のごあいさつといたします。
4年間、本当にありがとうございました。



8月11日行われた
寄居町長選挙当選証書付与式